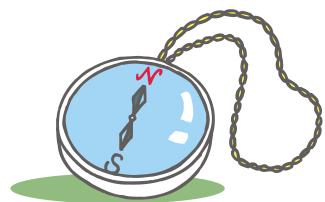


羅針盤



第18号

令和6年10月28日(月)

◆ 1. 01 と 0. 99 との違い

算数や数学の授業で学習した通り、1. 00というのは100%のことです。1. 00に、1. 00を何回かけても、1. 00になります。そして、1. 01というのは、100%でやり切るだけではなく、ほんの少しだけ、1%だけでも上回って、頑張りきることを意味していると考えられます。逆に、0. 99というのは、ほんの少しだけ「まあ、いいか」と考えて1%だけ手を抜くことと考えられます。1. 01と0. 99、この2つの値の違いは、わずかながらの0. 02ではありますが、その違いを積み重ねていくことで、結果として歴然とした大きな差となって表れてきます。例えば、1. 01を積み重ねていった場合は、100回繰り返してみるとすれば、1. 01に1. 01を100回掛け合わせることとなり、その結果は、2. 70となります。ほんの少しの1%といった頑張りが、大きな結果へと繋がっていくわけです。逆に、同じように、0. 99を積み重ねていった場合は、どうでしょう。0. 99に0. 99を100回掛け合わせた結果は、0. 37になります。2つの違いは、およそ7. 3倍もの大きな違いとなります。さらに1年間では、どのような結果となるでしょうか。1. 01を365回掛け合わせると、37. 8にまで値は大きくなります。一方、0. 99を365回掛け合わせると、0. 03となり、その差は、1260倍までにもふくれ上がる結果となってしまいます。これらのことは何を意味しているかと言えば、1. 00が日頃の自分の姿だとすると、1. 01はたとえわずかであったとしても少し頑張った自分の姿であり、0. 99はその日の気分でいつもより少しさぼってしまった自分の姿であると言えるのではないでしょうか。いつもよりほんの少し早起きして英単語を3つ覚えることを習慣として増やしただけでも、そういった少しのプラスアルファが、それを毎日積み重ねることで、1年後には37. 8倍に成長した自分がいることになります。逆に、ほんの少しだけ怠けてしまった自分。家でゲームをする時間が増えるなど、ちょっとしたマイナスでも、1年間続けてしまうと0. 03倍となった自分になってしまうかもしれません。この違いをどのように捉えるべきか、一度考えてもらえればと思います。



◆ 「いただきます」と「ごちそうさま」

食欲の秋。野菜や果物など、秋の味覚が、食卓にも食材として溢れんばかりに並べられる日々が続いているのではないでしょうか。食事のときの「いただきます」と「ごちそうさま」。この言葉は、日本特有の言葉であり、日本人の心が表れた言葉もあります。「いただきます」は、私たちが生きていくために、命をあたえてくれた動植物や、手間をかけて料理をつくってくれた人たちに対する感謝の気持ちを表したものです。また、「ごちそうさま」は、多くの生き物の命をごちそうになり、あるいは良いごちそうを食べられたことへの感謝の気持ちを表している言葉です。食事の前と終わりに使われるこれらの言葉は、日本人が大切にしてきた食文化のひとつであり、たくさんの食べ物であふれている現代だからこそ、感謝の心を持って、食べ物を大切にする気持ちがより大事なことだと思います。

